

磐城時報

福島縣石城郡平町結屋町十四
印刷所 福島縣石城郡平町結屋町十四
印刷部 福島縣石城郡平町結屋町十四
電話 磐城二二二二
廣告料 一月五元 三月十元 半年二十元 一年四十元
（日曜、休日）休刊

平町警中校に於て 御大典の賜饌

その數一千名に達す 平町民間では四十三名

御即位禮及び大嘗祭後の十一月十六日地方賜饌の光榮に浴し得る資格者は各町村に於て又現在官公署に就官してゐる者については夫々官行界に於て調査の上縣に報告する處あつたが、濱三郡の賜饌は平町警中學校に於て行はるゝ等で三郡の資格者一千名以上に達す、當日は平町として空前絶後の盛況を豫想されてゐる、平町に於ける民間賜饌の資格者左の如し。

白銀町村山三郎、田町野崎滿藏、藤田榮助、丸山喜一郎、漆畑元吉、搔搦小路酒井猶次、永野柳造、新妻誠一、八幡小

壯麗盛大に行はれた

吉田氏の建碑除幕式

山崎與三郎氏式辭朗讀

漢學者吉田敦和氏の建碑除幕式は十六日午前十時から本町船政神社境内に於て行はれたが、吉田先生の令孫大平嬢が除幕式を行ひ、會長山崎與三郎氏の如き式辭を朗讀し遺族、一般の拜禮があつて式を閉じた。

工を告げ茲に本日をして除幕式を擧ぐるに當り舊門生諸君並に來賓各位の光臨を添ふせしは最も欣幸とする處なり嗚呼先生逝きて茲に十四年歳月流るゝに隨ひて墓墓の念愈切なるを覺ふ、殊に昨昭和二年は時恰かも先生の十三週忌に相當するを以て此機を逸せず聊か報恩顯彰の微衷を効さ

東北六縣聯合の クレール射撃大會

二十二、二十三日平町で

平町渡邊砲火藥店主催平町獵友會後援の東北六縣クレール射撃大會は来る二十二日、二十三日の兩日石城郡飯野村谷川瀬射撃場にて一等から二十五等まで夫々賞品を授與するが、一二等には無錫二連銃、三等にはブローニング銃、四等には短銃で東京方面よりの参加者も多數あり盛會を呈するであらう。

平、湯本間 道路改修

平町を中心とした湯本、四倉間座に巡業中観客と口論し客を毆つたので四倉署で取調中である

漁船を大型に変更し ラヂオを据付けける

漁況を磐城丸から聴取

從來漁群の棲息地帯及び餌付きして受信器を据付けしめんども良否に關する一切の報告は無線下計測中であるからこれが實現電信に依つて磐城丸から各水産されることになる漁業者に取試験場に報告し、それより各漁つて一大利を齎す譯であるが試験場に報告し然る後漁業者に同時に最も不利を見るのは石傳はるのでその間かたりの時間城各濱の漁業者である、即ち本之を發揮し所謂経世有用の材を要してゐた、従つてその不便縣における漁船は他縣に比し小たらしむるにあり、若し先生をして都門に在らしめんか大に其名を成し一身の榮達期す可かりしに職芒隱處分に安んじ天を樂み其生を終る其高潔（後略）叙上一片蕪辭以て式辭とす

九月十六日
吉田先生建碑建設委員長
山崎與三郎

野崎氏に答ふ

鈴木 默 鐘

未だ昔て背信的行為に出でず又常に信賴もし尊敬の念も失はずして今日に至るまで、圓滑に交誼を續けてきた野崎氏の間に一つのへだたりの發生したかの如く一般から疑惑の目で見らるゝ事は、私は哀しくも亦甚だ残念に思ふ。私は力進社對平銀行に關して二回に亘つて輪廓的方面と内面的方面から其物語を書いたが今後幾回かに亘つて書くかも知れない、さばはれ力進社問題の物發した當時野崎氏は、佐藤作平氏と協力して當時危急と見られた平銀行を救つたのは、取りも直さず野崎氏と

マールト 撞球大會

平町田町マールト撞球場では十六日正午から月並十勝會を舉行したが参加者四十余名、結果左の如く優勝カップは白銀町花澤輝一（三〇）君の手に歸した。

頭を毆る

四倉町漁夫佐々木熊次郎（五〇）は十六日午後七時半頃飲酒して出漁中の船に漁業組合の報告船を多少減じて大型漁船の建造を待たずして判明する事となつた、これが爲め水産試験場では早晩他縣との對抗上大型漁船三週間の重傷を負はせられたので四倉署で取調中である。

挑戦したかの様に考へて居る様に想像されるが、私は未塵も野崎氏に挑戦するが如き、又一片の憎悪心の無い事をよく、知つて戴きたい、私は氏に對して銀行の走狗となつて奔走したと書いた記憶も無い、其事實も無い、唯私は野崎氏は佐藤氏と平銀を救ふ爲めに新聞記者に對し買収的諷刺に狂奔したといふ事を書いたが、これは、文辭的形式であつて、決して野崎氏を悪意に解して書いたものではない、唯々野崎氏は財界の爲めに只管平銀を救つた、其効績は何んとしても野崎氏の力に待たねばならぬといふ意味を敷衍したに過ぎない、私の眞意は少くも斯にある。

破蔵七犯の 大泥逮捕

西白河郡古關村大字關邊字竹の花生れ當時小名濱町字定西破蔵前科七犯金澤繁治(五五)は去る三月中窃盗事件で起訴猶豫中のものであるが、その後九月十二日夜湯本町字天王崎庄司濱吉方からセルの夏外套一枚價格十圓を窃取した外数件の窃盗を働いた事平署に探知され逮捕の上目下取調中である。

マルトモ柴田書店
平町四丁目
電話二三三四番

油 繪
水彩 畫
木炭 畫
テンペラ 畫
バステル 畫
用具一式

つるはしで
同僚を殴る
石城郡好間村大字北好間小田炭礦飯場高木善之助方に於て去る十五日午後七時ごろ同礦炭夫小野鶴吉(五六)が飲酒中同僚なる宮城縣伊具郡東根村生れ磯目龜雄(二〇)が來合せたところ小野は磯目に對しつば野郎と罵つたので口論をはじめた末一旦歸宅した磯目は間もなく引返し小野を殴りつけたので憤慨した小野は矢庭に鶴吉を擲つて磯目を毆打し頭部に重傷を負はせた騒

ぎに平署から係官出張兩人を引致目下嚴重取調中であるが、磯目は同僚間でも評判悪く附近のものゝ話によると磯目は喧嘩を仕掛け殴らせておいて金を強要する常習者だ。

四軒町の 人殺し

實は痴情喧嘩
十五日午後四時半頃平町字四間町髪結業小野ひろ方から人殺しがあるから直ぐ來て貰ひたいとの電話が平署にあつたので同署片寄警部補は押取り刀で數名の巡查を引き具し現場に急行して見ると二名の男が入れ亂れて掴み合ひの格闘を演じて居るので取押へ本署に引致嚴重取調せると一人はひろの亭主、一人は情夫の某で情夫は夫の留守中ひろを訪れて居るところへ夫が歸宅し口論をはじめ果ては格闘を演じたものと判り説諭の上兩人とも釋放された。

鳥御料理
蒲焼
平町南町平館隣り
電話四二四番

高久病院
内科・外科・耳鼻科
咽喉科・花柳病科
院長 高久 忠
平町 電話一三五

腸胃 専門
皮膚病 専門
婦人病 専門
淋病 専門
松村病院
平町南

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

吉田眼科
平町紺屋町
電話六八番

耳鼻咽喉科 専門

新築 移轉
場所 合津醫院
平町仲田町七一
電話五五九番

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
警城セメント株式会社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

市原病院

警城病院改稱
平町田町(電話二二四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
花柳病科 市原三三男

外科 専門

X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

治淋 強ア。ンチゴ。ー
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス

平町一丁目
特約販賣店 大平屋藥店
電話六四二番

君は、この型の洋服を求められたか。誰かへ？いや君コレは例のソレ正札堂さ



通場車停町平
堂 札 正

和洋銅鐵 金物問屋
久 釜屋商店
警城平 電話一九三九番

確實敏捷は久の生命なり!!!

油と味噌

山崎合名會社
東京支店
上野車坂四三
電話下谷五七二番
振替東京六八三二二番

汽車即片脂油

殺菌防臭の効絶大なり
代理店 關内藥局
平町四丁目(電話四〇番)